



# ～エヌアイシ・オートテックの現状と施策～

2008年2月16日

エヌアイシ・オートテック株式会社

代表取締役社長 西川浩司


<http://www.nic-inc.co.jp/>



証券コード:5742

# 目次



1. アルミの特性 3 R + 1 R = 4 R 
2. 会社の概要
3. 事業所
4. 沿革
5. 3つの事業部門
6. 決算概要
7. 当社ビジネスの優位性
8. 事業環境と当社の取り組み
9. 当社の競争力
10. 開発の基本方針
11. 戦略の基本方針
12. 株主還元について
13. 株価データ

# アルミの特性 3R+1R=4R

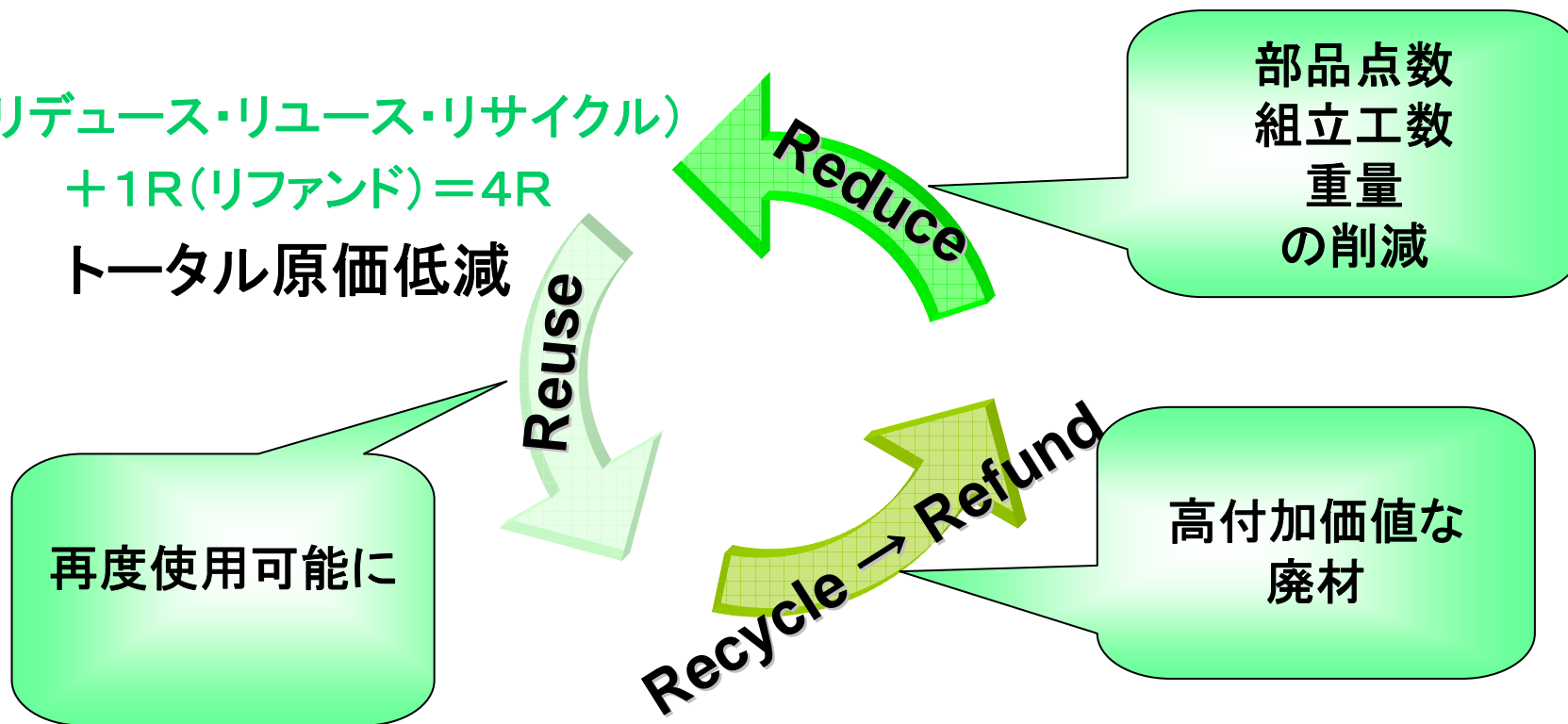


## 環境に優しい



## ”グリーンテクノロジー”

3R(リデュース・リユース・リサイクル)  
+1R(リファンド)=4R  
トータル原価低減



# 会社の概要



- 会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社
- 設立年月日 昭和46年5月17日
- 代表社名 代表取締役社長 西川 浩司
- 本社所在地 富山県富山市清水元町7番8号
- 東京本社 東京都江東区有明三丁目1番25号  
有明フロンティアビルB棟 11階
- 資本金 156,100千円(平成19年9月末日現在)
- 従業員数 153名うち正社員135名(平成19年9月末日現在)
- 事業内容
  - ① アルミ構造材「ALFA FRAME® SYSTEM」の製造販売
  - ② アルファフレームシステムを使用したFA装置、  
クリーンブース、構造物の製造販売
  - ③ 富山県を地盤とした地域密着型工業生産財商社



# 事業所(生産・開発・販売拠点)



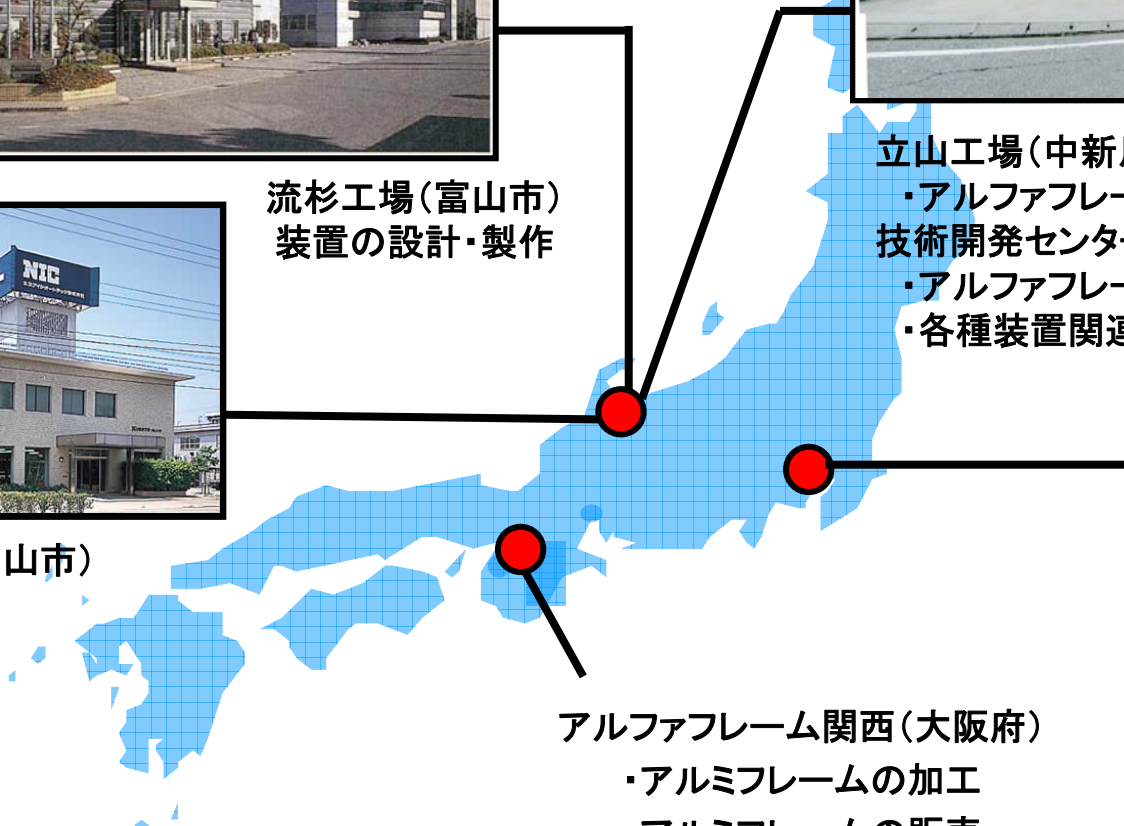
流杉工場(富山市)  
装置の設計・製作



商事部門(富山市)



立山工場(中新川郡立山町/写真左)  
・アルファフレームの切断・出荷  
技術開発センター(写真右)  
・アルファフレームの改良・開発  
・各種装置関連技術の開発



アルファフレーム関西(大阪府)  
・アルミフレームの加工  
・アルミフレームの販売



東京本社(東京都)

# 沿革

・当社は創業80年の長い歴史を有する(時代と共に変革)



1920

1960

1970

1980

1990

2000

- **2007年6月** 技術開発センター開設
- **2006年6月** JASDAQへ新規上場
- **2006年3月** ISO9001(2004年8月)及びISO14001の各認証を取得
- **2002年4月** 当社を存続会社として(株)クレトを吸収合併
- **2001年3月** ニック・セイコー・ミスナーヴウルト社を解散し、同社のクリーン関連事業を移管し、クリーンブースの製造・販売を開始
- **1997年12月** セイコー電子工業(株)、ミスナーヴウルト社と共にニック・セイコー・ミスナーヴウルト社を設立し、クリーン関連事業を開始
- **1993年2月** 東京都千代田区平河町に東京支店(現・東京本社)を開設
- **1988年5月** アルミ構造材「ALFA FRAME® SYSTEM」を商品化し、アルファフレームの製造及び販売を開始
- **1986年4月** 産業用アルミフレーム「アルファフレーム」を開発
- **1971年5月** 富山県富山市にキュノ・トヤマセールスを設立し、搬送装置及び周辺装置の設計・製造を開始
- **1970年10月** クレト商会を(株)クレトに商号変更
- **1960年3月** 西川鑪製作所をクレト商会に商号変更
- **1927年4月** 鑪(やすり)の製造及び加工を事業目的として、富山県富山市に西川鑪製作所を設立

<設立後>

<設立前>



# 3つの事業部門



機械要素部品の生産から高度な装置製造・販売までの一貫体制

## 1. アルファフレーム部門



ボルトだけで構造体を組立てることができるフレキシブルなアルミ構造材「ALFA FRAME® SYSTEM」の製造販売

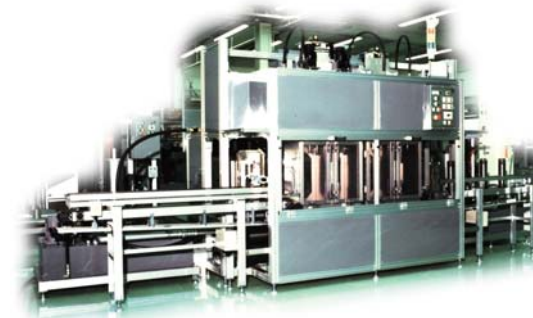
## 2. 装置部門

アルファフレームシステムを使用したFA装置、クリーンブース、構造物の製造販売



## 3. 商事部門

富山県を地盤とした  
地域密着型工業生産財商社



# アルファフレーム部門(1)



■ 強度解析とアルミ押し出し技術が生み出す品質

■ 総合システムとしての高い完成度 (ALFA FRAME® SYSTEM)



## 【アルファフレームの特徴】

1. 環境にやさしいリサイクル性
2. 軽く強く美しいフレーム
3. 急な設計変更や増設に対応
4. 豊富な製品ラインナップ
5. 幅広い分野に対応

## 知的財産権: (平成19年9月30日現在)

- 特許権 33件
- 商標権 34件
- 意匠権 64件

## 【スチール製構造部材との比較】 ※当社調べ

- スチール製構造部材(6つの加工工程) ..... 設計+切断+溶接+機械加工+塗装+組立
- ALFA FRAME® SYSTEM(3つの加工工程) ... 設計+切断+組立



# アルファフレーム部門(2)



## ■ 専門CAD設計陣による 設計支援サービスで広範な用途を提供

### エレクトロニクス

DVD・携帯電話  
PDP・TFT液晶ディスプレイ



### 自動車

PL対応のマシンツール用  
パーテーション



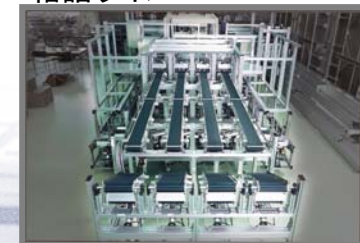
### 半導体

超微細化半導体用  
クリーンブース



### 製薬・食品

箱詰ライン



### 公共施設・病院

メディカルワゴン



### 専用フレーム

公園などに設置する街灯のボディ  
直交ロボットのマインフレーム  
エアシリンダーのボディ  
コンベアフレーム、コンプレッサ部品

# 装置部門(1)



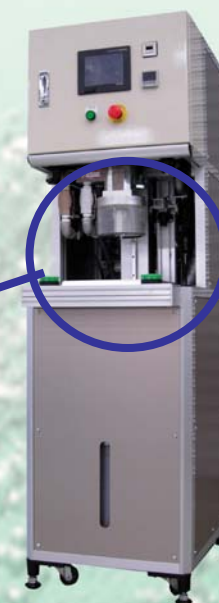
- 洗浄装置(FA装置) 部品製造工程において、切削・切粉等の削りかすを除去

## ■ 当社独自の洗浄方式

ボックス式洗浄機



標準カップ式洗浄機



NEW

「ALFA FRAME® SYSTEM」を基本部材として使用することにより、製造の効率化や短納期化が可能

自動車分野をはじめ電子、電子部品、家電メーカーなど幅広い業種に納入

# 装置部門(2)



## ● 検査装置(FA装置)

部品製造工程において、寸法、重量、形状、機能等を検査



## ● 搬送・梱包装置(FA装置)

部品製造工程において、材料の供給、機械間搬送、完成品をストック



## ● アルミ構造物

機械のカバー、機械の付属設備等

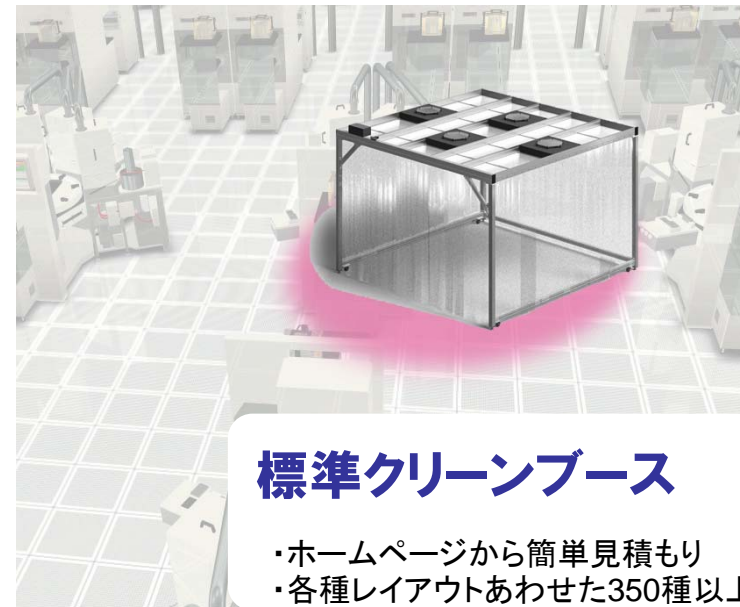


# 装置部門(3)



- **クリーンブース** 電子、精密部品の製造工程等で、局所をクリーン化

## カスタムクリーンブース



## 標準クリーンブース

- ・ホームページから簡単見積もり
- ・各種レイアウトあわせた350種以上のバリエーション

「ALFA FRAME® SYSTEM」を基本部材として使用することにより、製造の効率化や短納期化が可能

電子部品、家電メーカー、精密機械分野など幅広い業種に納入

# 商事部門



## ● 工場等の機械設備

- 切削加工等の工作機械、自動化・省力化に必要な搬送の機械装置等
- 自動車部品メーカーへの売上比率が高い



## ● 消耗品



工業用砥石



工具・ツール



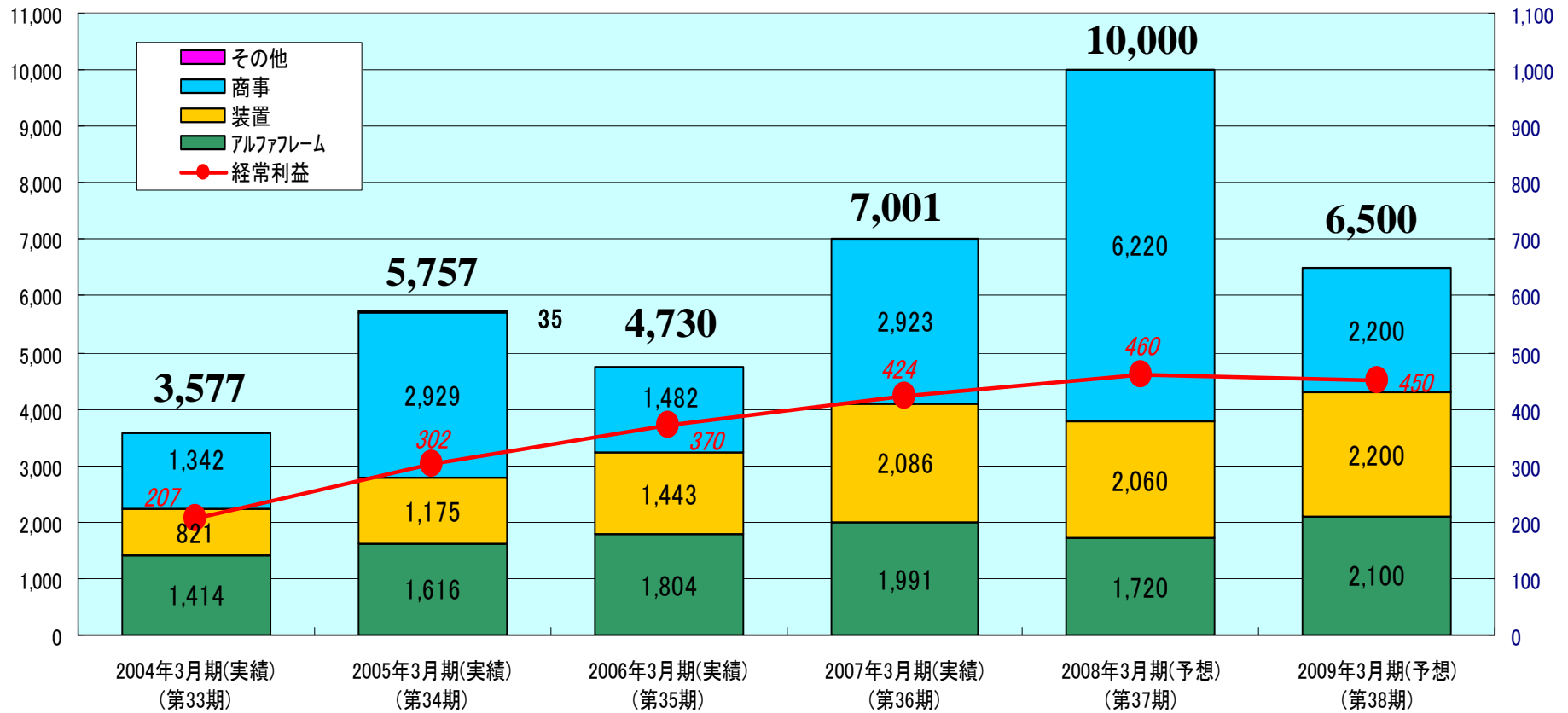
油脂類

富山県内の地域密着型商社として、リピート受注が多く、安定した消耗品ビジネス

# 利益計画(売上高及び経常利益の推移)



■ 売上高 (単位:百万円)
 ● 経常利益 (単位:百万円)



# 通期業績の概要 前期比



(単位:百万円)

	今 期 計 画 (2008年3月期予想)		前 期 ( 参 考 ) (2007年3月期実績)		増 減	前年比	要 因
売 上 高	10,000	100%	7,001	100%	2,999	143%	●自動車部品の製造関連企業からの大型機械設備投資案件(部品加工専用機及び当社製品の洗浄・搬送装置等)の受注を確保できる見通しより、前期比43%増10,000百万円の売上を見込んでおります。
売上総利益	1,430	14%	1,364	19%	66	105%	●原材料価格の高騰や、大型機械設備投資案件の受注による粗利益率の低下などがあり、前期比5%増の1,430百万円の売上総利益を見込んでおります。
営 業 利 益	450	5%	426	6%	24	106%	●技術開発センター開設に伴う諸費用や内部統制関連費用の増加はあるものの、調達方法の再構築や合理的な経費削減効果が見込まれ、前期比6%増の450百万円を見込んでおります。
経 常 利 益	460	5%	424	6%	36	108%	●上記の結果、前期比8%増の460百万円を見込んでおります。
当期純利益	260	3%	239	3%	21	109%	●上記の結果、前期比9%増の260百万円を見込んでおります。
設 備 投 資	169	—	31	—	138	545%	●開発センターの取得、既存設備の更新・改修等で大幅に増加しております。
減価償却費	70	—	63	—	7	111%	●上記設備投資増による増加が見込まれます。
研究開発費	65	—	55	—	10	118%	●開発センターの取得に伴い、償却費等の負担増が見込まれます。

# 翌期業績の概要 当期比



(単位:百万円)

	翌期計画 (2009年3月期予想)		当期(参考) (2008年3月期実績)		増減	前年比	要因
売上高	6,500	100%	10,000	100%	▲3,500	65%	●商事部門における大型機械設備投資案件が一服し、特需は見込まれないものの、アルファフレーム部門での設計支援ソフト(AMS)の活用により同部門の売上高は大幅に伸張し、また装置部門では大型クリーンブース等の受注を見込んでおりますが、当期比35%減の減収になると見込んでおります。
売上総利益	1,420	22%	1,430	14%	▲10	99%	●粗利益率の低い大型機械設備投資案件の減少により、粗利益率が大幅に改善され、当期と同様な売上総利益が確保できると見込んでおります。
営業利益	450	7%	450	5%	0	100%	●アルファフレーム及び装置部門の売上増加となりますが、両部門における変動費(広告宣伝、運賃等)の増加により営業利益は450百万円になると見込んでおります。
経常利益	450	7%	460	5%	▲10	98%	●営業利益に伴った、経常利益を見込んでおります。
当期純利益	256	4%	260	3%	▲4	98%	●経常利益に伴った、当期純利益を見込んでおります。
設備投資	36	—	169	—	▲132	22%	●前事業年度の技術開発センター及び設計ソフト・設備更新のような大型設備投資を見込んでおりません。
減価償却費	76	—	70	—	6	109%	●設計ソフト及び設備更新による償却費負担増を見込んでおります。
研究開発費	70	—	65	—	4	107%	●次期新商品の開発投資を見込んで増加となっております。



# 当社ビジネスの優位性



## ■ シナジーを活かした総合力

### ■ アルファフレーム部門

ALFA FRAME® SYSTEM の  
シリーズ化

- ・高剛性フレーム
- ・アルファコンベア
- ・アルファレール

■装置製造から生まれたALFA FRAME® SYSTEM

■アルミの特性を活かした機械装置の開発製造

### ■ 装置部門

自動・省力化装置、周辺  
機器の研究開発

- ・国内初の半導体工場向け  
ミニエンバイロメント設備受注
- ・標準クリーンブース開発

■当社製品(ALFA FRAME® SYSTEM)を組み合わせた洗淨・検査・搬送梱包の各種装置の販売

■「メーカー機能」を活用した設備導入提案

### ■ 商事部門

輸入・国産工作  
機械取扱い

- ・大型自動車部品ラインの受注

1927

1971

1986

# 事業環境と当社の取り組み



## 事業環境

- ◆ 国内外における自動車関連事業の高水準な設備投資
- ◆ FPD業界の技術革新と旺盛な設備投資などエレクトロニクス業界の活況
- ◆ 先端技術の微細化に伴うクリーン関連製品への注目度増大
- ◆ 鉄からアルミへの代替促進などアルミフレーム市場の拡大
- ◆ 人材不足による生産設備の自動化、省力化の更なる進行
- ◆ 企業活動の変革とスピートアップ

# 当社の競争力



## アルファ フレーム 部門

- アルミ構造部材の国内でのパイオニア的存在
- 設計ノウハウを活かした設計支援などの質の高いサービスの提供
- 新製品開発力
- システムとして完成された豊富なフレーム、アクセサリ類製品

## 装置 部門

- 幅広い業界で利用される要素技術の蓄積
- 特定の業界や取引先に過度に依存しない取引構造
- 当社技術力を評価するリーディングカンパニーを固定客に持つ

- 各部門が相互にシナジー効果を活かしつつ、専門的なソリューションを提供する企業
- 常に新しい独自の技術の開発を促す技術ベンチャーの気風

# 開発の基本方針



## 開発

技術開発センターを設立し開発力をさらに強化

### 3部門のシナジーを活かし、早期商品化を目指した製品開発

- 標準化・汎用化
- アルファフレーム製品、アクセサリ類の改良／開発
- 装置関連技術の開発



標準カップ式洗浄機

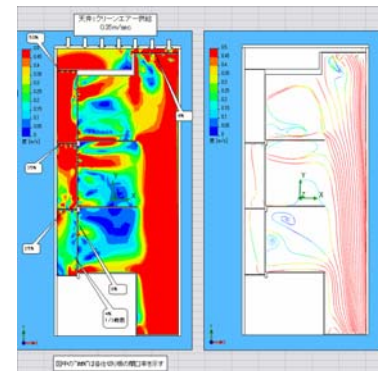
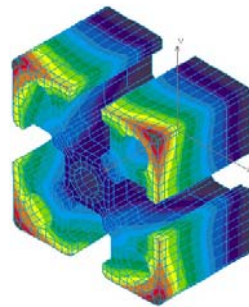


標準クリーンブース

### 安定的・持続的な収益力を高める研究開発

- 新素材等の基礎研究

マグネシウム合金  
樹脂フレーム 等



クリーンロッカーの  
気流解析



# 戦略の基本方針



## 生産・技術

- 生産能力の増強 → 協力工場の確保
- 他社との提携による技術分野の拡大
- 標準化・汎用化製品ラインアップの充実
- 3部門のシナジー効果を活かした製品開発
- 人材の確保 → 技術力、技術者の確保

## 営業

- 質の高いサービスの提供(短納期、設計支援、ソリューションの提供)
- 販売チャネルの多様化
- 価格競争力の強化
- 専用フレーム開発 → 大口ユーザーの定着

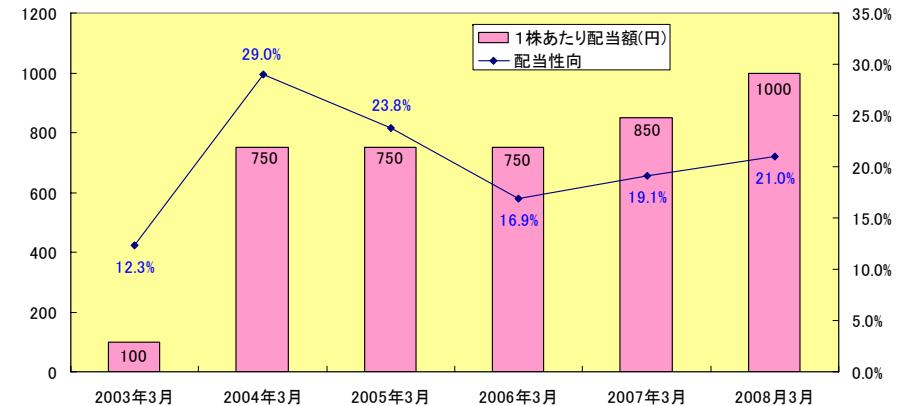
# 株主還元について



## 〈利益配分に関する基本方針〉

「株主に対する利益還元」を戦略上の重要な経営課題として認識しており、安定的な経営基盤の強化及び業容の充実につき、その努力を行って収益の拡大を図り、営業成績やキャッシュ・フローの状況等を勘案して適切な配当を実施していくことを基本方針としております。

2008年3月期の期末配当は、1株当り850円に創業80周年記念配当150円を加えた1,000円を予定しております。



## 〈株主優待制度〉

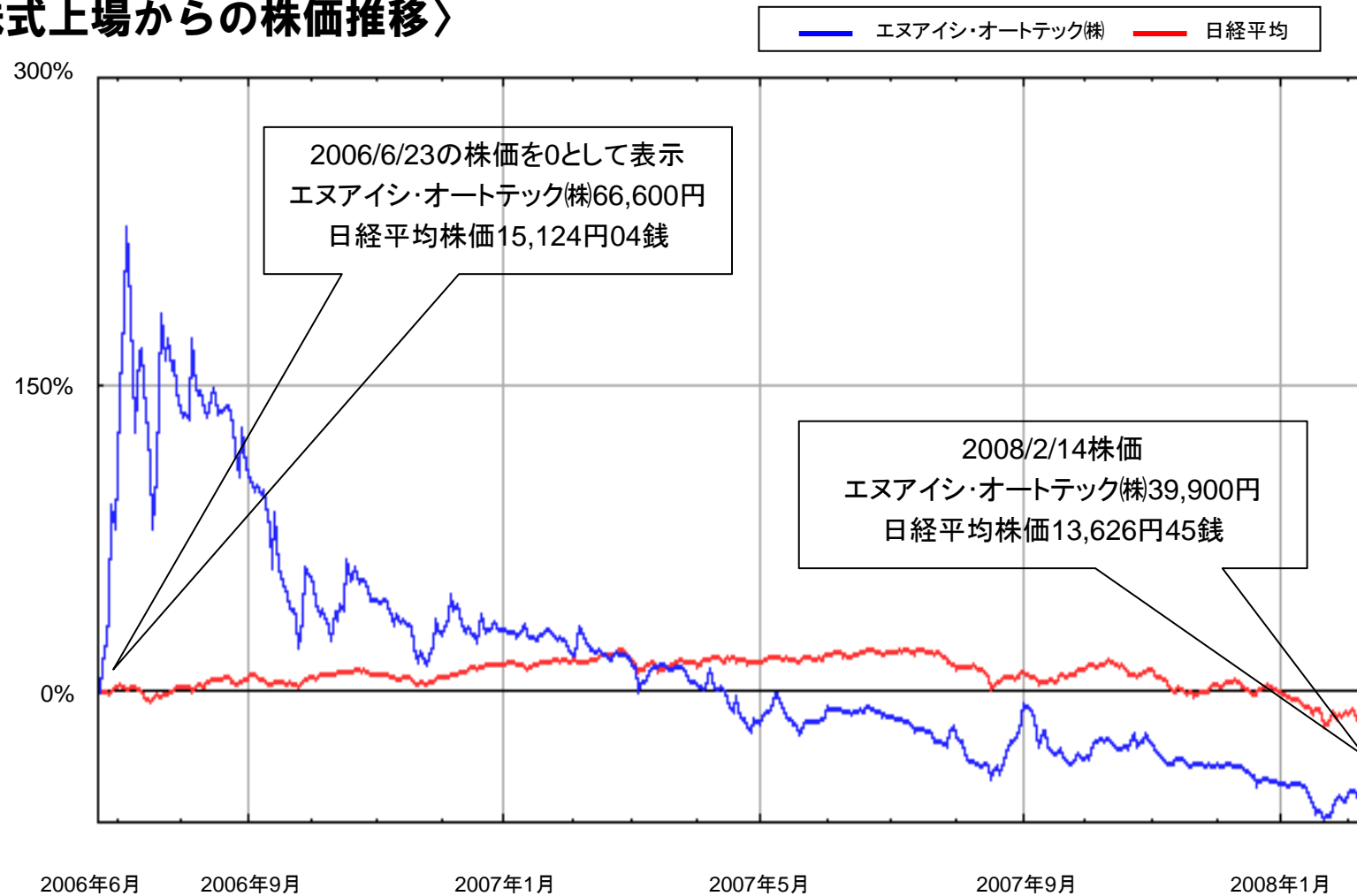
株主の皆様のご支援にお応えするため、毎年3月31日現在1株以上所有の株主様に対し「クオカード」1,000円券1枚を贈呈・送付させていただきます。



# 株価データ



## 〈株式上場からの株価推移〉



- 本資料は、当社に関する情報の提供を目的とし、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想並びに記載された内容は、本資料作成日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料に対するお問合せは、以下のIR担当窓口にてお願い申し上げます。  
＜エヌアイシ・オートテック株式会社 経営企画室＞  
TEL: 03-5530-8066      FAX: 03-3570-2381  
Mail: [ir@nic-inc.co.jp](mailto:ir@nic-inc.co.jp)      URL: <http://www.nic-inc.co.jp/>